



「子ども発」で、子供の言葉でつくる

校長 成田 弥生

春の日差しが眩しく感じられる朝が増え、校庭の木々の花芽も暖かい春の訪れを待ちわびているように見えます。寒風吹きすさぶ寒い朝でも、子供たちは元気に挨拶をして登校しています。

今年度の生活指導の2つの重点取組の「挨拶」については、地域・保護者の方による「おはボラ（朝の見守りボランティア）」の御協力をいただいていることにプラスして「子どもあいさつ隊」による子供たち自らが挨拶で出迎える経験を経て、自分から挨拶をする子が増えてきました。

また、もう1つの重点取組の「時間を守る」については、今年度は遅刻者が大幅に減り、時間を守って登校でき、8時25分開始の朝会や集会も全員揃って気持ちよくスタートができています。御家庭の御支援もあると思いますが、子供たち一人一人が時間を守ろうとの意識に立ち、自分たちの力で行動できている結果であると成長を嬉しく実感できる場面でもあります。

＊＊マイラボ発表会＊＊

本日、シブヤ未来科マイラボ発表会を行い、5・6年生のマイラボの成果を見ていただきました。子供たちそれぞれが、今のベストを尽くしての発表の時間となりました。「一生懸命は伝わる」と後に続く下級生にとっても素敵なお手本を見るよい機会となりました。

また、テーマラボの取組では、6年生は「代官山から世界へ」とのテーマのもと「冬の向日葵」とのタイトルの映画を製作し、まもなく上映（3月14日東宝シネマズ渋谷にて）される宣伝を行い、5年生は「代官山町おこし」のテーマで、地元企業のルートートさんとコラボ製作したトートバック販売（3月4日、11日Tサイトテラスにて）を行う宣伝をさせていただきました。ぜひ、映画館やトートバック販売に足をお運びいただけると幸いです。

学び初めのきっかけは大人からの場合でも、そこから子供の心に灯をつける。「子ども発」で自分事として考えられるようにする。子供たちが、自分の好きなこと、チャレンジしたいことに自ら取り組む。自分でやる気になったときの伸びる力はすごいと実感したエピソードとなりました。

次年度もシブヤ未来科をはじめ、「子ども発」の学びと誰も取り残さない学校づくりを大切に、展開していきたいと考えています。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

＊＊6年生社会科見学＊＊

2月14日に国会議事堂と日本科学未来館に行きました。

卒業式をまもなく迎える6年生。みんなで楽しむことをいつも意識している「楽しみ上手」で幸せ感度が高い子供たちです。

国会議事堂見学では、本会議場の傍聴席から日本の政治の中枢の場を見学したり、参議院の特別体験プログラムで法案を通すまでやり取りを体験し、投票をしたりして、国会での様子を知ることができました。「国会議員になろうかな」と目を輝かせて語る子の姿に、これからの日本の未来をよろしくと子供たちに託す思いを強くしたひとときでした。



今年度も残すところわずかとなりましたが、一日一日を大切にして、「終わり良ければすべて良し」で有終の美を飾ってまいりたいと思います。



